

新しい学習指導要領への不安は

●新しい学習指導要領では

教育課程上の位置づけ

- 授業時間数が週3時間から週4時間に増えます。
- 小学校の外国語活動とのスムーズな接続が求められます。

新しい学習指導要領の基本的な考え方

- 生徒が自ら主体的に学習に取り組む態度を育てることが求められます。
- 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることが求められます。
- 習得した内容を活用し、思考力や表現力などを養うことが求められます。

【外国語科】改訂のポイント

- 「読むこと」「書くこと」を含め4技能を総合的に育成することが求められます。
- コミュニケーションを支える文法をきちんと身につけさせることが求められます。
- 語彙が900語程度から1,200語程度まで増えます。
- 発音指導は、つづりとの関係や日本語との違いに注意させることが求められます。
- 伝統文化や自然科学などを教材として取り上げることが求められます。

NEW CROWN が解決します！

●新しい NEW CROWN は

◆ 2割のページ増を実現。質・量ともに充実させました。

- ・学年ごとのレッスン数は変わりません。
- ・習得した知識・技能の活用部分と付録を充実させました。

◆ 1年冒頭部分を大幅に改訂しました。

- ・Get Readyで小学校外国語活動の内容をふり返り、生徒の足並みを揃えます。
- ・LESSON 1~3で音声から文字へのスムーズな移行ができます。

◆ 自学自習できる工夫を随所に配置しました。

- ・シラバスや各レッスンのねらいを提示して、計画的に学習ができるようにしました。
- ・「辞書の使い方」「つづりと発音」「いろいろな単語」などを配置。自ら学ぶ力を養います。

◆ ページごとのねらいが明確なレッスン構成にしました。

- ・レッスン前半の習得部分 (GET) で基礎的・基本的な知識・技能を習得します。
- ・レッスン後半の活用部分 (USE) で習得したものを活用します。

◆ USE Read を新設し、さらに各段階の言語活動で「書く」活動を強化。

- ・4技能が総合的に育めるように、バランスよく活動を配置しました。
- ・学期に1回の頻度で、技能統合型の活動も配置しました。

◆ 「導入 → 繰り返し使う → 整理」の流れで確かな文法力をつけます。

- ・言語活動を通して、文法を定着させます。
- ・「絵でわかる英語のしくみ」では、関連する文法事項をまとめ、日本語との違いにも触れています。

◆ 各レッスンに Word Corner を新設。

- ・活用を通して、語いを習得できるように工夫しました。
- ・最重要語、重要語、その他の語の3段階に分けて、学習のしやすさを重視しました。

◆ 各レッスンのSOUNDSを充実させました。

- ・日本語の音声との違いや、発音とつづりなどについて、タスクを通して、気づいていきます。
- ・巻末「つづりと発音」で、母音と子音に分けて英語の音を整理します。

◆ 各学年に「伝統文化」「自然科学」の題材を配置しました。

- ・題材のバランスを改善するため、以下の7領域を考慮して配置しました。

①学び ②ことば ③伝統文化(日本文化) ④異文化理解 ⑤自然理解 ⑥社会理解 ⑦人間理解